

《ブルネイ》任期途中で異例の内閣改造実施 エネルギー・産業相ら10ポストに新任者

ブルネイのボルキア国王(首相)は1月30日付けで内閣改造に関する勅令を発出し、エネルギー・産業相、第二外務通商相などを務めてきたベテラン閣僚6人を解任、計10の閣僚ポストに(横滑りや返り咲きを含む)新任者を就ける人事を発令した。同国では2005年以降、内閣改造は5年ごとに「定期的」に実施されてきたが、2015年10月に発足した内閣の任期満了(→2020年)を待たずに内閣を改造するのは極めて異例である。ボルキア国王はこの時期に内閣改造を実施した理由を説明していないが、閣僚の世代交代を急ぐ必要があったとの見方が多い。

改造人事の概要

〔内閣の任期〕5年(2018-23年)

〔閣僚数〕■大臣:(首相を含め)16人 □副大臣:5人

〔大臣〕※新任10人(ハルビ・モハマド・ユソフ第二国防相のみ文化・青年・スポーツ相から横滑り)再任(留任):6人

〔副大臣〕※新任5人再任(留任):0人

〔女性閣僚〕■大臣:0人 □副大臣:2人

〈注〉下記の〔人物データ・ファイル〕で氏名の前の※印は(横滑り、返り咲き、昇格を含む)新任者を示す。

〔ブルネイ・ダルサラーム国:国家元首・大臣・副大臣〕

◎国王(第29代スルタン)

Sultan and Yang Di-Pertuan of Brunei Darussalam

ハサナル・ボルキア陛下



《大臣》

■首相・財務相・国防相・外交通商相

Prime Minister, Minister of Defence, Minister of Finance and Minister of Foreign Affairs and Trade

ハサナル・ボルキア国王(陛下)

HM Sultan Hassanal Bolkiah Mu'izzaddin Waddaulah

▼データ:〔年齢〕71歳(1946年7月15日生まれ)〔生地〕バンドルスリブガワン【学歴】英陸軍士官学校卒【経歴】〔1961年〕英保護領ブルネイ皇太子/〔67年10月5日〕スルタン即位/〔84年1月1日〕ブルネイ独立で国王(首相・財務相・国防相)/〔2015年10月22日〕首相・財務相・国防相・外交通商相(一現在)。

■首相府上級相 Senior Minister at the Prime Minister's Office

アルムタデー・ピラ皇太子(殿下)HRH Prince Al-Muhtadee Billah

2005年5月から務めている現職(首相府上級相)に再任。実質的な「副首相」。

▼データ:〔年齢〕43歳(1974年2月17日生まれ)〔生地〕バンドルスリブガワン【学歴】オックスフォード大学モードリン・カレッジ卒(外交学)【経歴】〔1998年8月10日〕皇太子(立太子の礼)/〔2004年3月〕ブルネイ王国軍(RBAF)大将に任官/〔05年5月〕ブルネイ王国警察(RBPF)副長官(一現在)、〔5月29日〕首相府上級相(一現在)【兼任】国家防災委員会委員長。

■国王特別顧問兼首相府相 Special Advisor to His Majesty and Minister at the Prime Minister's Office

※アワン・イサ・イブラヒム Awang Isa Awang Ibrahim

83歳にして国王特別顧問兼首相府相として閣僚に返り咲いた。改造

内閣の最年長閣僚。「世代交代」が図られた新内閣には、ボルキア国王が信頼する「長老」のアドバイスも必要だということだろう。

*1962年に英国で法廷弁護士資格を取得した元法務官。英保護領時代から34年間にわたりボルキア国王の顧問を務め、2005年までの19年間は内相を兼任。10-15年には立法議会(国会)議長も務めた。

▼データ:〔年齢〕83歳(1935年生まれ)〔生地〕(英保護領)ブルネイ・ダルサラーム【学歴】〔1961年〕(英)サウサンプトン大学卒(法学:優等)/〔62年2月〕(英)ロンドンミドル・テンプル法曹院で法廷弁護士資格取得【経歴】〔1962年3月〕ブルネイ政府法務局入局、法務官補佐兼次席検事/〔63年〕マレーシアとの統合に関するブルネイ政府代表団書記/〔65年〕法務長官補/〔68年〕副法務長官/〔70年〕副首相相(Menteri Besar)/〔71年〕国王統括顧問/〔86年〕(首相府付き)国王特別顧問兼内相(→2005年)/〔2010年〕立法議会(国会)議長(→15年)/〔18年1月30日〕(内閣改造)国王特別顧問兼首相府相(一現在)【家族】ロスナ(Rosnah Abudulla)夫人との間に2男3女。

■首相府相 Minister at the Prime Minister's Office

※アブドゥル・モクティ・ダウド Abdul Mokti Mohd Daud

副宗教相(2015年-18年)から昇格。駐ヨルダン大使、駐サウジアラビア大使などを歴任。

■第二外務通商相 Second Minister of Foreign Affairs and Trade

※エリワン・ユソフ Erywan Mohd Yusof

副外務通商相から昇格。2005年から第二外務通商相を務めてきたリム・ジョクセン(林玉成)氏(ブルネイ政治上初の華人・非イスラム教徒閣僚)の後を受け継いだ(リム氏は閣僚を退任)。外相はボルキア国王が兼任しているため、ASEAN外相会合などの国際会議では実質的な「外相」(諸外国の外相のカウンターパート)の責務を果たす。

*2005年に外務通商省に異動するまでは、産業資源省で技官を務めた応用遺伝学の専門家。外務通商省国際通商局では、日ブルネイ経済連携協定(EPA:2007年6月調印)関連の交渉でブルネイ政府の実務責任者を務めた。

▼データ:〔学歴〕〔1988年〕(英)ウェスト・ヨークシャー州)リーズ大学卒(遺伝学・生物物理学:優等)/〔91年〕(英)ウェールズ)スウォンジー大学理学修士(遺伝学・応用遺伝学)【経歴】〔1989年〕産業資源省入省、畜産化学技官/〔91年〕雑農作物課長/〔94年〕ASEAN Agriculture Matters担当官/〔2005年5月〕外務通商省国際通商局に異動/〔08年1月〕同省副事務次官、〔8月〕同省事務次官/〔15年10月〕副外務通商相/〔18年1月30日〕(内閣改造)第二外務通商相(一現在)【兼任】〔2015年10月〕ブルネイ戦略評議会共同副議長(一現在)/〔16年〕ブルネイ経済開発委員会副委員長(一現在)【歴任】〔2008年〕ブルネイ・シェル・ペトロリアム、ブルネイ液化天然ガス(LNG)各社取締役/〔10年〕ブルネイ・ガス・キャリアー、ブルネイ・シェル・タンク、ブルネイ・シェル・マーケティング各社取締役。

■内相 Minister of Home Affairs

アブバカル・アボン(博士)Dr. Abu Bakar Apong

再任。2002年以来、4つの省のトップに就任してきたベテラン閣僚。

▼データ：【年齢】69歳(1948年9月19日生まれ)【学歴】(英)ランカスター大学修士【経歴】国王補佐官/[1986年]首相府事務次官/[91年]ブルネイ・ダルサラーム大学(UBD)副総長/[99年]教育省事務次官(専門教育担当)/[02年]保健相/[05年]通信相/[10年]教育相/[15年10月]内相(一現在)。

■第二国防相 Second Minister of Defence

※ハルビ・モハマド・ユソフ(退役少将)Maj. Gen.(Ret.) Halbi Mohd Yusof
2015年10月から文化・青年・スポーツ相を務めてきたが、今後の内閣改造で現職(第二国防相)にポスト替え。国防相はボルネオ国王が兼任しているため実務的には「国防相」の役割を果たす。
*2003-09年にブルネイ王国軍(RBAF)司令官を務めた後、(文化・青年・スポーツ相に起用される前は)副内相を務めた。

■第二財務相 Second Minister of Finance

※モハマド・アミン・リウ・アブドゥラ(博士)

Dr. Mohd Amin Liew Abdullah
副財務相から昇格。財務相はボルネオ国王が兼任しているため、ASEAN財務相会合などの国際会議では実質的な「財務相」(諸外国の財務相のカウンターパート)の責務を果たす。
*財務省官僚として14年間務め同省事務次官などの要職を歴任。ブルネイ政府投資会社CEOを経て2015年から(今後の内閣改造まで)副財務相。
▼データ：【学歴】[1984年](英)ロンドン大学クイーン・メアリー・カレッジ卒(1stクラス優等：コンピューター科学・統計学)/[89年]同大学インペリアル・カレッジ経営学修士/[93年]同カレッジ博士(コーポレート・ファイナンス)/[2004年]CFA協会認定証券アナリスト資格取得【経歴】財務官僚/ブルネイ投資庁(BIA)長官、財務省事務次官、産業・資源省事務次官などを歴任/(シンガポール)非公開株式投資会社最高経営責任者(CEO)/[2014年11月]ブルネイ政府投資会社「ダルサラーム・アセット(Darussalam Assets)」副会長兼CEO(一現在/[15年10月]副財務相/[18年1月30日](内閣改造)第二財務相(一現在)【兼任】ブルネイ経済開発委員会委員長/(移動体通信最大手)DSTコミュニケーションズ会長/ジュルドンパーク・メディカルセンター(JPMC)理事長。

■エネルギー・産業相 Minister of Energy and Industry

※マツ・スニ・フェイン(博士)Dr.Mat Suny Mohd Hussein
2005-10年に副開発相を務めた後、公共事業・建設・運輸・環境分野のコンサルタント会社「コンサルタンMWH」社を共同経営していたが、今後の内閣改造でボルネオ国王によって閣内に「呼び戻され」、現職(エネルギー・産業相)への就任となった。10年から首相府エネルギー・産業相を務めたモハマド・ヤスミン・ウマル退役大佐の後任(ヤスミン氏は退任)。ボルネオ国王は15年末に「天然ガスと石油に依存した経済」の多角化を宣言したが、それでも現職は政府内の最重要ポストである。
*シェル・グループのエンジニアとして25年間、世界各地で掘削施設の計画・建設や業務の管理に携わってきた、ブルネイにおける石油・天然ガス業界の第一人者。ブルネイ・シェル・マーケティング社社長を務めていた時代には、使用資金利益率(ROCE)で156%を達成し、世界のシェル傘下各社のトップを記録した。
▼データ：【学歴】工学博士(石油工学)【経歴】シェル・ブルネイ・グループに入社(技術者)/(英ロンドン)シェル・インターナショナル、(蘭ハーグ)ロイヤル・ダッチ・シェル/シェル・マレーシア・トレーディング、ミャンマー・シェル各社で要職を歴任/バンダルスリプガワン公共事業局/ブルネイ・シェル・ペトロリアム社副社長(総務)、ブルネイ・シェル・マーケティング社社長/[2005年5月]副開発相として入閣(一2010年10月)/[12年]コンサルタン(Konsaltan)MWH社取締役/[16年]同社パートナー(共同経営者)/[18年1月30日](内閣改造)エネルギー・産業相(一現在)【歴任】教育省試験委員会委員/同省大学評議会委員/首相府生産性委員会委員【家族】既婚。子供3人。

■通信相 Minister of Communications

※アブドゥル・ムタリブ・ユソフ Abdul Mutalib Mohd Yusof
2015年11月から首相府事務次官(メディア・内閣連絡業務担当)を務

めてきたが、今後の内閣改造で現職(通信相)に抜擢された。2015年以前は、情報通信技術産業公社総裁代行、通信省副事務次官、首相府副事務次官、通信省事務次官を歴任。

■資源・観光相 Minister of Primary Resources and Tourism

アリ・アボンAli Apong
再任。2015年10月から現職(資源・観光相)。
▼データ：【年齢】59歳(1958年10月19日生まれ)【学歴】(英)ロンドン大学(インペリアル・カレッジ)経営学修士(MBA：財政学)【経歴】財務官僚/ブルネイ投資庁(BIA)で要職を歴任/[2003年]BIA長官代行/[2004年]財務省事務次官/[10年5月29日]副首相府相/[15年10月22日]資源・観光相(一現在)

■開発相 Minister of Development

※スハイミ・ガファル Suhaimi Gafar
副開発相から昇格。
*公共事業局長、開発省事務次官などを歴任した後に2015年10月から副開発相。

■保健相 Minister of Health

モハマド・イシャム・ジャファル Dr. Md Isham Jaafar
2017年12月1日付けで(突然解任された)ズルカルナイン・ハナフィ前保健相の後任に任命された(就任宣誓式は12月5日)。従って、今後の内閣改造では「留任」ということになるが実質的には新任閣僚といえる(この保健相交代人事が内閣改造の先駆けになったといえる)。
*入閣前は、最新設備の整った総合医療施設として有名な「ジュルドンパーク・メディカルセンター(JPMC)」の理事・センター長兼医長。

■教育相 Minister of Education

※ハムザ・スライマン Hamzah Sulaiman
首相府事務次官から現職(教育相)に昇格。
*ブルネイ・ダルサラーム大学(UBD)教官の後、国防省、財務省の政策・企画分野の要職を歴任。財務省では、ASEAN、ASEAN+3(日中韓)、国際通貨基金(IMF)、世界銀行、イスラム開発銀行(IDB)、アジア開発銀行(ADB)などの国際諸機関との実務的な交渉で中心的な役割を果たした。
▼データ：【学歴】ブルネイ・ダルサラーム大学(UBD)卒(公共政策管理学：優等)/(米)ニューヨーク州立大学政治学修士【経歴】[1991年]教育省入省、ブルネイ・ダルサラーム大学(UBD)経営・経済・政策学部教官/同学部公共政策・管理学科長、政策研究所初代所長/国防省、財務省で要職を歴任/スルタン・ハジ・ハサナル・ボルネオ国防戦略研究所(IDSS)初代所長/国防相副事務次官(国防政策・企画担当)/[2014年4月]首相府事務次官(経済・財政担当) [一18年]、[12月]ブルネイ政府投資会社「ダルサラーム・アセット(Darussalam Assets)」取締役(兼任)/[18年1月30日](内閣改造)教育相(一現在)【歴任】財務省審議官(経済研究・国際機関担当)

■文化・青年・スポーツ相 Minister of Culture, Youth and Sports

※アミヌディン・イフサン・アビディン(退役少将)
Maj. Gen.(Ret.) Aminuddin Ihsan Abidin
前ブルネイ王国駐英高等弁務官(大使)。
*2008年9月に開校した新制・ブルネイ王国軍(RBAF)士官学校の設立で中心的な役割を果たした。
▼データ：【経歴】[1988年]ブルネイ王国軍(RBAF)に入隊、中尉に任官/RBAF司令部・各部隊の要職を歴任/(ボルネオ)国防相官房研究部長(1級参謀)/国防省戦略企画本部本部長/陸軍第2大隊副大隊長、のち大隊長/RBAF訓練所司令官/陸軍司令官/[2009年12月]RBAF司令官/ブルネイ王国駐英高等弁務官(大使)/[18年1月30日](内閣改造)文化・青年・スポーツ相(一現在)

■宗教相 Minister of Religious Affairs

バダルディン・オスマン(師)Ustaz Badaruddin Othman
再任。2015年10月の内閣改造で内相から横滑り。
(アジア・リンケージ 勝田 悟)